

## 大会取り決め事項

1. 決められた事項は、チーム全員(保護者も含む)に必ず周知徹底させること。
2. 参加チームは、選手10名以上20名以内で編成したチームとする。
3. 抽選後の試合日程及び試合開始予定時刻の変更は、原則として認めない。(初戦はこの限りではない)  
なお、学校行事等については、証明書が必要。
4. 球審は、京都軟式野球連盟西京支部の審判員が担当する。なお、1塁審は西京少年野球会審判員が担当する。準決勝・決勝は、京都軟式野球連盟西京支部の審判員が担当する。
5. ストライク、ボール、アウト、セーフの判定に対する抗議は一切認めない。
6. 悪質なヤジ、選手・審判員へのヤジは、絶対にさせないこと。(応援の保護者も周知徹底のこと)
7. 選手及び応援団の行動については、当該チームが一切の責任を負うものとする。
8. 試合中における不慮の災害及び事故の発生については、大会本部は応急処置は行うがその他は当該チームの負担とする。
9. 競技に関する特別規則及び注意事項
  - ① 試合は7回、試合時間は1時間20分とし、1時間20分以降は新インングに入らない、7イニング及び試合時間を終了して同点の場合は、最終メンバー9人による、抽選で決定する。  
ただし、決勝戦は7イニング、試合時間は1時間30分とし、1時間30分以降は新インングに入らない。  
・準々決勝、準決勝、はタイブレーク(1回)とし、  
決勝戦での同点の場合は、タイブレーク(2回まで)とし、尚且つ同点の場合は抽選とする。
  - ② コールドゲームは、4回以降10点、5回以降7点以上の差がある場合に適用する。  
ただし、決勝戦はこの限りではない。
  - ③ ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
  - ④ ベンチに入れる者は、代表者1名 監督、コーチ2名、スコアラー1名と登録選手とする。  
ただし、チームの帽子を着用し、ベンチに入るものとする。  
夏場など、選手の水分補給のために女性2名のベンチ入りは認める。
  - ⑤ 試合チームは、試合開始予定時刻30分前までにグラウンドに到着して、本部準備の打順表にフルネームを記載した4部作成し、本部に提出する。打順表については試合開始前に各チームのキャプテンに渡すものとする。
  - ⑥ 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合は、直ちに次の試合を開始する。
  - ⑦ 試合開始時刻になってもチームがグラウンドに揃わない場合は、原則として棄権とみなす。
  - ⑧ 小雨の場合でも日程の都合上、グラウンドが使用可能な状況の場合は、試合を強行する。
  - ⑨ 5回以前で試合継続不可能の場合は、ノーゲームとし、後日再試合とする。
  - ⑩ 5回終了以降で、試合継続不可能の場合は、コールドゲームとする。ただし、同点の場合は再試合とする。
  - ⑪ デットボール(死球)・ボークを採用する。
  - ⑫ 変化球は一切禁止とする。(判定は球審の権限とし、全日本軟式野球連盟取り決め事項を適用する。)
  - ⑬ 大会使用球は、大会本部の準備した連盟公認(マルエスボール)を使用する。
  - ⑭ 捕手は、連盟公認(JSBB)マスク・ヘルメット・レガード・プロテクターを着用しなければならない。  
また、ファウルカップを着用すること。
  - ⑮ 打者、走者及びランナーコーチは、必ずヘルメットを着用しなければならない。
  - ⑯ 金属製バットは、連盟公認(JSBB)のみ使用できる。
  - ⑰ 同一チームの選手、監督、コーチは、ユニフォームを統一して着用しなければならない。
  - ⑱ 試合中のタイムは、プレーヤの要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
  - ⑲ 抗議のできる者は、監督又は当該プレーヤのみとし、ルールの適用を誤った時のみ許される。
  - ⑳ どんな方法であろうと、相手チームのプレーヤ又は審判員に対する暴言、暴力行為は厳禁とする。  
なお、暴力行為があった場合は、当該チーム全体の責任とし、没収試合として、相手チームの勝利とする。
10. 大会において不正を行ったチームに対しては次の処置を行う。
  - ア、試合中に発見された場合は、対戦チームに勝利を与える。
  - イ、試合終了後に発見された場合は、次の対戦チームに勝利を与える。
  - ウ、決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝チームを優勝とする。
11. ベンチ内は、禁煙とする。試合中に、喫煙を目的にベンチを離れた場合は、再度ベンチに復帰できない。
12. 2018年度公認野球規則及び日本軟式野球連盟の内規を適用する。
13. 西京支部特別ルール
  - ア、ピッチャーの投球回数を7イニングとする。なお、タイブレークを採用した場合はこの限りではない。  
また、4年生ピッチャーは投球回数を3イニングまでとする。
  - イ、試合中監督および選手の作戦タイムは3回までとする。
  - ウ、タイブレークに「については」「無死満塁・打者継続」とする
14. 雨天時の決行又は中止は、午前7時前に決定し、当該チーム代表者に連絡する。
15. グラウンドでのタバコの吸殻、空き缶等、食事後のゴミは、当該チームが必ず持ち帰ること(厳守)